

平成 26 年 度 事 業 報 告

1. 会員加入状況
2. 給付金事業
3. 勤労者の健康維持増進に係る事業
4. 勤労者の老後生活安定事業
5. 勤労者の自己啓発及び余暇活動に係る事業
6. 勤労者の財産形成に係る事業
7. その他サービスセンターの事業

一般財団法人乙訓勤労者福祉サービスセンター

1. 会員加入状況

(1) 入会状況

年 月 日	事業所	会員数
平成16年 4月 1日	548	1,538
平成17年 4月 1日	602	1,652
平成18年 4月 1日	679	1,790
平成19年 4月 1日	746	1,965
平成20年 4月 1日	860	2,174
平成21年 4月 1日	924	2,326
平成22年 4月 1日	944	2,396
平成23年 4月 1日	1,004	2,439
平成24年 4月 1日	1,081	2,559
平成25年 4月 1日	1,032	2,487
平成26年 4月 1日	1,004	2,453
平成27年 4月 1日	979	2,245

(2) 行政区別会員数

行政区	会員数	占有率	人口	対人口加入率
向日市	431	19.2%	53,745人	0.80%
長岡京市	1,309	58.3%	80,338人	1.63%
大山崎町	201	9.0%	15,033人	1.34%
その他	304	13.5%		
計	2,245	100.0%		

2. 給付金事業

(1) 共済給付事業

区 分	給付金額	件数	金額 (千円)
結婚祝金	10,000	31(27)	310,000
出産祝金	10,000	40(40)	400,000
入学祝金 (小学校)	5,000	58(59)	290,000
入学祝金 (中学校)	5,000	48(54)	240,000
成人祝金	10,000	3(1)	30,000
銀婚祝金	10,000	17(16)	170,000
真珠婚祝金	5,000	14(19)	70,000
珊瑚婚祝金	5,000	10(23)	50,000
ルビー婚祝金	5,000	21(15)	105,000
サファイヤ婚祝金	5,000	15(11)	75,000
金婚祝金	10,000	18(6)	180,000
還暦祝金	5,000	35(39)	175,000
永年勤続祝金 (10年)	5,000	80(62)	400,000
永年勤続祝金 (15年)	5,000	47(50)	235,000
永年勤続祝金 (20年)	10,000	45(31)	450,000
永年勤続祝金 (25年)	5,000	41(19)	205,000
永年勤続祝金 (30年)	10,000	20(32)	200,000
永年勤続祝金 (35年)	5,000	22(28)	110,000
死亡弔慰金 (会員：～64歳)	200,000	3(3)	600,000
死亡弔慰金 (会員：65歳～)	100,000	6(6)	600,000
死亡弔慰金 (会員：65歳～) [不慮の事故]	200,000	0(0)	0
死亡弔慰金 (会員の配偶者)	50,000	4(8)	200,000
死亡弔慰金 (会員の子)	20,000	0(1)	0
死亡弔慰金 (会員の親)	5,000	33(45)	165,000
傷病見舞金 (14～29日)	5,000	17(17)	85,000
傷病見舞金 (30～59日)	10,000	15(20)	150,000
傷病見舞金 (60～89日)	15,000	11(9)	165,000
傷病見舞金 (90～119日)	20,000	4(3)	80,000
傷病見舞金 (120日～)	25,000	11(14)	275,000
重度障害見舞金 (1～3級/～64歳)	200,000	0(0)	0
重度障害見舞金 (1～3級/65歳～)	100,000	0(0)	0
障害見舞金 (不慮の事故)	～100,000	0(0)	0
障害見舞金 (交通事故)	～200,000	0(0)	0
災害見舞金 (火災：全焼・全壊)	100,000	0(0)	0
災害見舞金 (自然：一部壊)	3,000	1(1)	3,000
合 計		670(659)	6,016,000 (6,103,000)

3. 勤労者の健康維持増進に係る事業

(1) 人間ドック利用補助事業

人間ドック利用補助 (自己負担 8,000 円以上) 年 1 回 4,000 円

区 分	利用者数	助成金
人間ドック利用補助 (23 年 4 月以降)	140(141)	560,000

〔注意〕人間ドック利用補助「A」は、23 年度から廃止。

(2) 法定定期健康診断、生活習慣病検診費用の補助事業

法定健康診断利用補助 A (事業主負担 5,000 円以上) 年 1 回 1,000 円

法定健康診断利用補助 B (事業主負担 5,000 円未満) 年 1 回 800 円

区 分	利用者数	助成金
利用補助 A	261(201)	261,000
利用補助 B	104(70)	83,200
合 計	365(271)	344,200

(3) 健康ハイキング

10 月に計画していたが、下期事業計画の見直しのため、スポーツ事業でのハイキングと類似事業であることを鑑みて取りやめ。

(4) 情報提供事業

会報誌のピロティニュースにて健康豆知識 (自立神経整体院よりの記事) を 12 回シリーズで掲載。

4. 勤労者の老後生活安定事業

(1) セミナーの開催

乙訓地区労働者福祉協議会との共催で「ライフプランセミナー (講師: 池乃めだか 氏)」を招いて開催。 平成 27 年 2 月 3 日 46 名参加 (予定 30 名)

5. 勤労者の自己啓発及び余暇活動に係る事業

(1) 文化教養事業

1) 事業名 パソコン教室 平成 26 年 10 月 13 日 中止
 フラワーアレンジメント 平成 26 年 12 月 13 日 参加者 22 名

2) その他事業

- ・通信教育講座利用補助 (NHK 学園) 3 (1) 名
- ・映画入場券の斡旋 (東宝、イオンシネマ、松竹、MOVIX、全福センター斡旋等) 892 (837) 枚
- ・スーパー銭湯入場券の斡旋 (ハーバーランド、ひじりのね、仁左衛門の湯、竹の郷) 6,455 (3,338) 枚
- ・遊園地等入場券 (京都水族館、ひらかたパーク、ナガシマリゾート等) 633 (859) 枚
- ・観劇入場券 (祇園花月、なんば花月、京都府長岡京記念文化会館等) 132 (150) 枚
- ・博物館、美術館等入館券 (京都文化博物館、京都市美術館等) 30 (43) 枚
- ・各種チケット (チケットぴあ) 311 (337) 枚

・その他チケット（全福センター幹旋他） 25（55）枚

(2) スポーツ事業

1) 事業名 ハイキング「京都一周トレイル（北山東部コース）」

平成26年10月12日 参加者13名

ロングランボウリング

平成26年11月1日～30日 12名参加

2) その他事業

- ・向日市民プール入場券 2,924(3,364)枚
- ・ゆめパレアむこう入場券 226(215)枚
- ・フィットネスクラブ「コスパ」入場券 320(290)枚
- ・スポーツクラブNAS入場券 7(58)枚

(3) レク・旅行事業

1) 事業名 全福センター近畿ブロック共同事業「魚釣り大会」 神戸市立平磯海釣り公園

平成26年7月6日 21名参加

全福センター近畿ブロック共同事業「魚釣り大会」 和歌山海釣り公園

平成26年11月9日 0名参加

主催「2014夏!ピロティおとくにビアパーティー」

平成26年7月18日 51名参加

主催「グループバス貸切 かにバイキングツアー」

平成26年12月13日 30名参加

主催「蟹料理と出石散策ツアー」

平成27年2月15日 4名参加

他 京都労働者福祉協議会後援事業 「2014京都府内社会貢献活動」

天橋立落ち葉清掃&地引き網体験 平成26年10月27日 4名参加

2) その他事業

- ・ジェフグルメカード（全国共通食事券） 10,570(11,161)枚
- ・ホテルdeぐるめ {申込者総数1,103名} 219(240)組
- ・東京ディズニーリゾート 263(166)枚
- ・ユニバーサル・スタジオ・ジャパン 227(321)枚
- ・びわ湖花火大会有料観覧席チケット 30(30)枚
- ・ビアガーデンクーポン券 146(114)枚
- ・プリペイドカード(都カード) 211(210)枚
- ・長岡京駅西駐車場券 1,871(1,524)枚
- ・新幹線チケット(回数券) 290(246)枚

※新幹線チケットの取扱いについて、より会員が使い易くするため、注文から発注、受渡の期間短縮を図ることを試行的に実施。(平成26年12月より)

(4) 旅行補助事業

旅行補助 A (公的宿泊施設の宿泊を伴う)	年1回	4,000円
旅行補助 B (公的宿泊施設の宿泊を伴う)	年1回	2,000円

(ただし、AまたはBのどちらかを1人年1回に限る)

区 分	利用者数	助成金
旅行補助 A (自己負担 8,000 円以上)	735(776)	2,940,000
旅行補助 B (自己負担 8,000 円未満)	7(14)	14,000
合 計	742(790)	2,954,000

6. 勤労者の財産形成に係る事業

(1) 協調融資、勤労者住宅資金融資に対する保証料の一部補助

行政と近畿労働金庫がタイアップしている協調融資制度(生活資金,教育資金,育児休業資金,在宅介護支援対策資金)・勤労者住宅資金融資の保証料一部補助について、7月号、8月号、9月号のピロティニュースへ記事を掲載実施。

7. その他の事業

(1) 広報宣伝活動事業

①会報誌

- ・ピロティニュースを毎月発行。
※経費削減として、10月号より紙面の内製化による原稿作成料などの経費削減実施。
- ・「携帯サイトへの新規登録募集」の記事を2月号ピロティニュースへ掲載。
- ・会員サービス向上を目的に4月から営業時間延長を開始し、会員への周知を図るために4月号、5月号、7月号に記事を掲載。
- ・パソコン豆知識を12回シリーズで掲載。
- ・ビジネスマナー12回シリーズで掲載。
- ・乙訓地域情報として「ハッチの食べ歩き」にて地域の食をテーマに6回掲載。
- ・地域情報として「おとくにカレンダー」「タウン情報」「ホール情報」「健康ウォーク」をそれぞれ12回掲載。
- ・その他チケット類の料金改定や会員事業所の広告掲載など不定期にて掲載。
- ・価格改定やチケット類の取扱い変更などの会員への告知掲載。
- ・既加入会員店や新規加入店などのお得情報の掲載。

②ホームページ

- ・ピロティおとくにの全体案内を常に掲載。また、広告バナーに「全労済」「労金」「全福センター」「小規模企業共済」「京都府労働者福祉協議会」を掲載。
- ・お得チケットや期間限定のチケット販売の掲載。
- ・取扱いチケットの価格変更など、内容変更時の都度更新。

③メールマガジン

- ・メールマガジンにて、登録会員にお得情報や、価格改定などの案内の配信。
- ・お得チケットや期間限定、取扱期間の短いチケット販売の配信。
- ・取扱いチケットや提携施設情報などの定期配信。

④携帯メール（TSメール）

- ・ピロティおとくに案内及び、各種特典付施設の掲載。
- ・物品販売受付の定期配信やホテル de グルメの応募案内の毎月配信と受付。
- ・お得チケットや期間限定チケット、取扱期間の短いチケット販売の配信と受付。
- ・会員事業所のイベントやお得情報の携帯会員への配信。

⑤その他

- ・12月の議会開催期間に2市1町の議会議員（各会派）への広報宣伝（協力要請含む）。
- ・チケット類の斡旋価格表【保存版】の作成と会員への配布。

(2) 加入促進活動事業

- ・MDライフの協力で、三菱電機長岡京事業所内で、昼休みの食堂出入り口で社員専用のピラの配布実施（2月）。
- ・連合乙訓役員幹事会にて、紹介活動の依頼を実施し、大山崎町の事業所2か所（日立マクセル構内の企業）を紹介いただき、専用チラシを作成し、加入活動を実施（10月）。
- ・千春会関連の新施設開設に伴い、千春会窓口総務担当部長に新たな施設の紹介依頼。
- ・2市1町商工会の年賀交歓会で、ピロティおとくに案内ティッシュの配布活動を実施。
- ・2市1町の広報誌に会員募集記事掲載。向日市 27年2月号／長岡京市 27年2月号
大山崎町 27年1月号
- ・2市1町商工会会員広報誌への折り込実施。（2月）
- ・長岡京市職員厚生会のカフェテリアプラン会員に対する継続加入依頼に加え、新規での加入促進を実施し30名加入。
- ・既会員の紹介による勧誘活動を実施。（紹介者が入会した場合に薄謝進呈）
- ・4月11日～5月9日（5月入会）の「新規入会キャンペーン」おとび、1月11日～2月10日（2月入会）での「既加入事業所追加入会キャンペーン」を実施し、合計で『20名』の入会。
- ・乙訓地域メーデー〔4月〕と2市1町のイベント（おおやまざき産業まつり〔11月2日〕、長岡京市ガラシャ祭り〔11月9日〕、向日市まつり〔11月15日〕）でのPR活動を実施。
- ・退会防止のため、既加入事業所で利用できるクリスマスケーキ、忘・新年会限定特別クーポン券の斡旋販売（64枚）を実施。

(3) 収益事業

会員事業所のイベントや販売促進を目的としたピロティおとくに会員向けの広告宣伝活動として、会報誌やホームページの広告媒体を活用した広告収益。ピロティおとくにが所有する備品を最大限活用するなどの備品貸出収益。共済関連の窓口事務の取り扱いや様々な物品斡旋における手数料収益など、サービスセンター事業の安定した運営と会員サービスの向上を目的とした収益事業を実施。

- ・ピロティ所有の備品（印刷機・紙折機等）の有償貸出や全労済や小規模企業共済、中退共の加入促進による手数料、「近江米、カニ斡旋、家庭常備薬、お中元・お歳暮商品等」の物品斡旋による販売手数料収益事業。

※収益額 394,440円

- ・ピロティニュースへ有償の折り込みチラシや広告掲載とホームページバナー広告収益事業。

※収益額 338,220円

(4) その他

- ・ピロティおとくにサービス向上のための会員意識調査を実施（6月2日～7月15日）した結果、依頼数400名、回答224名（回答率56%）であった。調査集計については、全会員に対し、会報誌への折り込みにて報告。
- ・メール会員、携帯会員へ優待チケットなどの抽選参加募集配信を8回実施し、合計30名にプレゼント。
- ・ピロティおとくに会報誌を読んでいただく、興味を持っていただくことを目的にクイズ掲載における景品提供の実施。（定例12回／不定期1回）

(5) その他課題

- ・販売済チケットの未使用による未精算の預り金が残っており、平成27年度以降も購入済未使用チケットが発生する可能性があるため、その預り金の取り扱いについて、平成27年度中に整理をする必要がある。